

公共イメージ委員会

公共イメージ委員会 委員長 菊池 俊介 (川越 RC)



●ポリオデーの開催

毎年東松山で開催されている「日本スリーデーマーチ」にて
ポリオデーの開催

●公共イメージは Me 目線でなく You 目線でおこなう。

『我々はロータリーである！からあなた方はロータリーですね』と言われるための中期計画の実施

課題 1 ロータリークラブはまだまだ周知されていない。



解決策 クラブの公共イメージ委員会と協力し、クラブの特色を活かした活動の発信支援。



結果 ロータリークラブとロータリアンへの理解が深まり、ロータリーの活動がブランド化する。

課題 2 クラブの公共イメージ委員会と地区の公共イメージ委員会の距離を縮める。



解決策 セミナーだけでなく、SNS 等様々なツールを活用して横の繋がりを強化する。



結果 クラブと地区公共イメージ委員会が密になればより横断的に情報共有ができ、効果的な活動を支援できる。

課題 3 END POLIO の周知



解決策 ポリオデーだけでなく、普段からポリオへ関心を持っていただけるような活動や情報の発信をおこなう。



結果 ポリオ根絶活動といえばロータリークラブの図式が一般に広がりブランド化する。

五十幡ガバナー スローガン 「入ってよかったロータリー」 Rotary Moment 会員誰もが、ロータリーで出会った感動と魅力を語れるようにのもと、以下のように活動します。

- 入ってみたいロータリー→SNS 等を利用し、効果的な発信を続けることでロータリーの奉仕活動がブランド化。それに共鳴する方々がロータリークラブに入ってみたい！と思っただけ。
- ポリオ根絶→ポリオ根絶を具体的に説明できるツールなどを制作し発信する。